

JAMA NEWS

NO. 49

The Japanese Association of Management Accounting

日本管理会計学会 〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1 国士舘大学経営学部 日本管理会計学会事務局

2019年度年次全国大会記

東京国際大学 奥 倫陽

■■日本管理会計学会2019年度年次全国大会（準備委員長：専修大学 伊藤和憲氏）は、2019年8月27日（火）から29日（木）までの3日間にわたって、専修大学生田キャンパスで開催された。27日は、選挙管理委員会、常務理事会、理事会および各種委員会が開催された。28日は、10:00から7会場で、計13の自由論題報告が行われた。その後、11:10から基調講演が行われた。13:10から会員総会が行われた。14:00から統一論題の報告が行われた。16:00から特別講演が行われた。17:30から専修大学生田キャンパス蒼翼の間にて会員懇親会が盛大に開催され大会2日目は終了した。会員懇親会では、冒頭、水野一郎会長の挨拶の後、専修大学学長佐々木重人先生よりご挨拶を頂戴した。29日は、10:00より7会場で、計26の自由論題報告が行われた。その後、13:10からスタディ・グループの中間・最終報告が行われた。13:40から産学共同研究グループの報告が行われた。最後に、14:20から統一論題討議が行われ、盛況のうちに大会は終了した。なお、28日と29日の両日にわたって会長選挙および理事選挙が行われた。3日間の参加者は、250名であった。

■■学会賞

- ・特別賞（第15号）：廣本敏郎氏（一橋大学名誉教授）
- ・文献賞（第20号）：伊藤克容氏（成蹊大学） 受賞業績：『組織を創るマネジメント・コントロール』中央経済社、2019年。
- ・論文賞（第12号）：渡辺岳夫氏（中央大学） 受賞業績：「アメーバ経営システムの運用の継続企業と中止企業の比較—組織成員に対する心理的な影響メカニズムの多母集団同時分析—」『管理会計学』27巻1号、2019年、pp. 35-55。
- ・奨励賞（第22号）：鬼塚雄大氏（慶應義塾大学大学院） 受賞業績：「自律的な在外子会社に対する本社による業績管理の影響」『管理会計学』27巻1号、2019年、pp. 109-124。

■■基調講演

櫻井通晴氏（専修大学名誉教授）により「コーポレートガバナンス・コードの制定とROE活用の是非」という演題で、伊藤和憲氏（専修大学）の司会のもと基調講演が行われた。講演では、日本企業がROE 8%を経営目標にすべきかについて、日本の研究者・実務家の反応に基づいて検討された。結論としてROEを目標利益としてもつことが、持続的な企業発展を阻害する可能性を指摘された。最後に講演者とフロアとの質疑応答が行われた。

■■特別講演

Chris Chapman氏（University of Bristol）により「Big data and Management Control」という演題で、澤邊紀生氏（京都大学）の司会のもと特別講演が行われた。講演では、マネジメント・コントロールにおける今日の挑戦的な課題の1つとしてビックデータを取り上げられた。ビックデータ・アナリティクスに関連する講演者自身のフィールドワークを通して、有益なマネジメント・コントロールのために、どのようなデータが利用でき、どのような目的で利用されるかが具体的に明らかにされつつあると指摘された。なお、本特別講演は、公益財団法人メルコ学術振興財団の支援を受けて行われた。

■■統一論題報告・討議

「マネジメント・コントロールの展開と今日的課題」というテーマで、澤邊紀生氏（京都大学）の座長のもと統一論題の報告が行われた。座長による開題の後に、次の3つの報告が行われた。統一論題の翌日に統一論題討議が行われた。

■統一論題報告：第1報告 浅田拓史氏（大阪経済大学）

浅田拓史氏（大阪経済大学）により「製造業における管理会計実践と自律創造型コントロール」という演題で報告された。報告では、製造業における管理会計実践についてコマツの経営改革でみられる自律創造型コントロールに基づき検討され、自律創造型コントロールの実践が管理会計知識をめぐる管理会計担当者の役割に変化を与えると指摘された。

■統一論題報告：第2報告 青木章通氏（専修大学）

青木章通氏（専修大学）により「サービス組織における価値共創プロセスとマネジメント・コントロール・システム」という演題で報告された。報告では、顧客との価値共創プロセスにおけるマネジメント・コントロール・システムの特徴についてfreee株式会社の事例を通して検討され、価値共創を念頭に置いたマネジメント・コントロール・システムの設計には、マネジメント・コントロールを拡張した概念として理解する必要性を指摘された。

■統一論題報告：第3報告 伊藤克容氏（成蹊大学）

伊藤克容氏（成蹊大学）より「「両利き経営」を実現するマネジメント・コントロールの要件」という演題で報告された。報告では、「スタートアップ」で求められる経営行動を題材として、マネジメント・コントロール理論

の拡充、拡張について検討された。会計情報の使われ方が従来と大きく異なるため、理論体系の拡張の必要性を指摘された。

■統一論題討議

澤邊紀生氏（京都大学）の座長のもと、統一論題報告者3名をパネリストとして、統一論題討議が行われた。フロアからの質問に基づいて活発な討議が行われた。

■スタディ・グループ

飯島康道氏（愛知学院大学）の司会のもと、スタディ・グループの中間報告と最終報告が行われた。研究課題「日本における管理会計技法・情報利用の変容に関

する研究」（研究代表者：吉田栄介氏（慶應義塾大学））について中間報告が行われた。研究課題「医療機関におけるマネジメント・システムの導入とその成果に関する研究」（研究代表者：伊藤和憲氏（専修大学））について最終報告が行われた。

■産学共同研究グループ

浅田孝幸氏（立命館大学）を研究代表者とする研究課題「グローバル管理会計規準の可能性と展望に関する研究」の産学共同研究グループの最終報告が、大槻晴海氏（明治大学）の司会のもと行われた。

2020年度年次全国大会 開催ご挨拶

大会実行委員長
名古屋商科大学大学院 辻 正雄

日本管理会計学会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、2020年度の年次全国大会が、8月27日（木）～8月29日（土）の日程で名古屋商科大学大学院名古屋校に於いて開催されることになりました。1999年7月に創設されたときの大会を第1回としますと、2020年度の大会は第30回の開催となります。

開催場所の名古屋商科大学大学院名古屋校は2015年に開校された、社会人を対象とする修士課程のビジネススクールです。ビジネススクールの主要な国際認証を2つ授けられており、日本語による学科目のみならず、ダブルディグリーの取得を目指す海外の大学院生を対象に英語の学科目が開講されています。今大会の自由論題とスタディグループの報告は、ケースメソッドによるアクティブラーニングが実践されている教室で行われます。

今大会の準備（実行）委員会は、学会の伝統を継承して、研究者と大学院生による学術研究ならびに実務家による実践研究の双方の報告がなされ、相互の交流が深まる環境となるよう努める所存です。統一論題のテーマは、「エビデンス・ベースト（Evidence based）」な管理会計研究を目指して（仮）」を予定しております。さらに、海外から報告者を募り、英語によるセッションを設定する予定です。また、特別講演として、Journal of Management Accounting Research の Editor である Jason Schloetzer 教授をお招きして、evidence を高めるためのリサーチデザインに関するご自身の研究について

ご講演いただくことを企画しております。

大会のスケジュールは以下の予定です。

8月27日（木）常務理事会、理事会

28日（金）自由論題報告、総会、特別講演、スタディグループ報告、統一論題報告、懇親会

29日（土）自由論題報告、統一論題討議、自由論題報告自由論題報告の募集については2020年3月に会員各位にご案内し、詳細の大会プログラムは6月下旬にご郵送する予定です。

多くの方々にご参加いただけますよう、準備委員会一同は万全の準備を進める所存です。何卒よろしく願い申し上げます。



学会業務日誌

2019年4月20日(土)

▼第1回常務理事会開催(麗澤大学)

▼第1回理事会開催(麗澤大学)

- ◆ 2018年度の事業報告(案)が承認されました。
- ◆ 2019年度の方針および事業計画(案)が承認されました。
- ◆ 新入会員(正会員6名・賛助会員1社)、会員種別変更(準会員から正会員4名・正会員から特別会員1名)、退会者(正会員9名・準会員1名)が承認されました。
- ◆ 3年周期で行われる執行部の切り替わりの際に除名に関する手続きで不具合が生じていたことから、毎年3月末に対象者を確定し、4月の常務理事会および理事会で審議・決定するというプロセスを来年度より実施していくことが説明された。
- ◆ 選挙管理委員会委員が承認されました。
- ◆ 学会賞規程第7条「選考及び決定の方法」において、受賞候補者の業績リストの提出に関する一文を削除する旨、承認されました。
- ◆ 2019年度国際会議参加旅費の助成の募集の実施について承認されました。
- ◆ 新たな参事について承認されました。
- ◆ 日本経済学会連合の国際会議派遣補助募集について説明がなされ、承認されました。
- ◆ 2019年度次全国大会の準備状況について報告されました。
- ◆ 関西・中部部会および九州部会の活動状況について報告されました。
- ◆ フォーラムおよび企業研究会の活動状況について報告されました。
- ◆ スタディ・グループの公募について報告されました。
- ◆ 学会賞候補者の募集について報告されました。
- ◆ 学会誌『管理会計学』の発行状況について報告されました。
- ◆ 日本管理会計学会30年史刊行準備委員会について報告されました。

2019年7月20日(土)

▼第2回常務理事会開催(中村学園大学)

- ◆ 2018年度収支決算書(案)および監査報告について承認されました。
- ◆ 2019年度収支予算書(案)について報告がなされ、確認・修正の上で対応することで承認されました。
- ◆ 学会賞(特別賞・功績賞)について、承認されました。
- ◆ 産学共同研究グループについて承認されました。
- ◆ 特別会員2名の推薦について承認されました。
- ◆ 新入会員(正会員2名・準会員4名)、会員種別変更(準会員から正会員8名・正会員から準会員1名)、

退会者(正会員7名・賛助会員1社)が承認されました。

- ◆ 会費未納による除名候補者について提案されました。
- ◆ 2019年度年次全国大会の準備状況について報告されました。
- ◆ 選挙管理委員会の開催状況について報告されました。
- ◆ 2020年度年次全国大会の開催について報告されました。
- ◆ 地方部会の活動状況について報告されました。
- ◆ フォーラム、企業研究会、リサーチセミナーの活動状況について報告されました。
- ◆ 学会誌『管理会計学』の発行状況について報告されました。

2019年8月27日(火)

▼第3回常務理事会開催(専修大学生田キャンパス)

▼第2回理事会開催(専修大学生田キャンパス)

- ◆ 2019年度会員総会次第について承認されました。
- ◆ 学会賞の受賞者(特別賞・論文賞・文献賞・奨励賞)について承認されました。
- ◆ 新入会員の承認と会員の異動について承認されました。
- ◆ 事務局業務の外部委託に向けた準備状況と今後の方向性について承認されました。
- ◆ スタディ・グループについて、承認されました。
- ◆ 監事の推薦について承認されました。
- ◆ 理事・常務理事の推薦について、現会長ならびに現副会長4名が次期の常務理事になるとのことで承認されました。
- ◆ 会費未納による除籍候補者について承認されました。
- ◆ 会則変更(特別会員の推薦方法)について提案がなされ、異議なく承認されました。
- ◆ 選挙管理委員会の準備状況について報告されました。
- ◆ 2019年度年次全国大会の準備状況について報告されました。
- ◆ 2020年度年次全国大会の開催について報告されました。
- ◆ 地方部会の活動状況について報告されました。
- ◆ フォーラム、企業研究会、リサーチセミナーの活動状況について報告されました。
- ◆ 学会誌『管理会計学』の発行状況について報告されました。
- ◆ スタディ・グループの選考について報告されました。
- ◆ 産学共同研究グループについて報告されました。
- ◆ 日本管理会計学会30年史刊行準備委員会について報告されました。

会員数の推移

- 第1回常務理事会（2019.4.20）：新入会員7会員（正会員6名・賛助会員1社），会員種別変更5名（準会員から正会員4名・正会員から特別会員1名），退会者10名（正会員9名・準会員1名），会員現員数は739会員（正会員:648名、準会員:74名、賛助会員:11社、特別会員:6名）

- 第2回常務理事会（2019.7.20）：新入会員（正会員2名・準会員4名），会員種別変更（準会員から正会員8名・正会員から準会員1名），退会者（正会員7名・賛助会員1社），会員現員数は737会員（正会員:650名，準会員:71名、賛助会員:10社、特別会員:6名）

- 第3回常務理事会（2019.8.27）：新入会員（正会員2名），会員種別変更（正会員から特別会員2名），（本人からの申し出による）退会者（正会員3名），会費未納による除名候補者（正会員19名，準会員5名）会員現員数は，712会員（正会員：628名，準会員：66名，賛助会員：10社，特別会員：8名）

- 第4回常務理事会（2020.3.10）：

事務局からのお知らせ

- 学会事務局が以下の通り国士舘大学に移転したのでお知らせいたします。なお、メールアドレスに変更はありません。
- フォーラムやリサーチセミナーの案内等，会員宛の連絡にeメールを活用したいと考えています。メールアドレスを未登録の方は，学会事務局までご連絡ください。また，すでに登録されている方で，案内等が届かない，あるいは，メールアドレスに変更があった場合には，速やかに学会事務局までご連絡ください。

日本管理会計学会広報 責任者：井岡大度

メンバー：片岡洋人，後藤晃範，奥 倫陽

発行機関：日本管理会計学会

《本部事務局》 〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1

国士舘大学経営学部 井岡大度研究室内 日本管理会計学会事務局

E-mail：jama-info@sitejama.jp

ホームページ | 【URL】 <http://www.sitejama.jp/>